

# 何を目的に、どう最期まで生きていけばいいのか？



写真は、息子が父親に説教している模様です。  
今年も予想を裏切らず、見事に入院となりました～  
家族想いの優しい父親ですが、困ったことにネジが1本抜けています・・・(笑)

大腸がんからおよそ12年。  
術後、たびたび腸閉塞で入院しています。そのたびに吐き気と腹痛で苦しむ姿を見るのはかわいそうではありますが、「相変わらず変わらない人だなあ・・・」  
違う意味で、かわいそうに思っています(笑)

さて、太田東西薬局をご利用くださっているお客様。  
今年もありがとうございました。ところで、  
みなさんが漢方を続けてくださっている目的は何ですか？

「まだ病気が完全に治ってないから」  
「体調はすっかり良くなったけど予防のために」  
「太田先生が大好きだから！」 きゃ~~~~~(´` )ゞ

いろんなご意見があるかと思いますが、およそは  
「健康維持のために」  
ということでしょう。

では、  
「何のために健康を維持したいとお考えですか？」  
という質問にはいかがですか？

「いや、単純に病気になりたくないからですよ」  
「私がまた病気をしたら、家族に迷惑をかけるので」  
「健康を失ったら、仕事もできませんから」  
ごもっともです。

子育てと仕事に追われる現役世代の人たちは、健康でなければ収入も得られず  
家族が幸せに生活していけないからという目的でしょう。  
特に一度大病をされた方は、健康の有難さをひしひしと実感されていますから  
その思いが強いですね。

では、子育ても終わり、定年退職された世代のみなさんの健康維持の  
目的は何でしょうか？

つまり、  
「今あなたは何のために生きていますか？」  
そう尋ねられた時に、何と答えるか？

「死にたい人なんか1人もいないでしょう！」  
「誰だって1日でも長く生きたいでしょう！」

確かにそうですが、その思いだけで生きていると、人生の最期は  
『恐怖』『残念無念』で幕を下ろすことになります。

うちの父親は、ここ2年で3回緊急入院しました。



「太田先生！お客さんばかり大切にせずに、お父さまも大切にしてくださいよ！ どうして漢方調合してあげないんですか？」

いや、ずっと漢方飲ませていますよ・・・ でも、こうなるんです・・・

「ならばご家族ですもの、一番上等な漢方、飲ませてあげたらどうですか？」

いや、その一番上等な漢方を飲ませても・・・ こうなるんですよ・・・

ではどうしてか？というと、父親が自分と向き合っていないから、です。

「自分の苦しみは自分がつくっている」と気づいて、生活習慣を改める努力をしない限り同じことを繰り返します。結果には必ず原因があるのです。

うちの父親に限らず、女性よりも男性が『病気は自分の生き方の問題』だと受け入れることなく、すぐに病院や薬に頼る傾向があります。それと奥さんにも、ですね(笑)

ここで少々本音を書きます。

「何年も続けて漢方飲んでいるのに、全然変わらない」という不満をお持ちのお客様がいたら、それは私のアドバイスを聞くだけで行動に移していないから。意識や行動を改めず、何年も変わっていないから。

「この人は自分を治せない」「この薬も自分に効かない」\(\*`´)/  
病気の原因を他人やモノのせいにして、いつも不平不満、愚痴をこぼしている。そういう人は感謝ができませんから、影のように病気が付きまといます。自分のエゴに気づくまで、病気は何度でも繰り返しやってきます。

そんな父親ですが、太田先生のお話は素直によく聞きます(笑)。この日は『人は死んだらどうなるのか?』『人は何のために生きるのか?』『魂とは何か?』奥さまといっしょに勉強していただきました～



感謝というのは、物品金品をもらったの「ありがとう」ではありません。  
「目は見えないけど、耳は聞こえる！おいしく食べれる！ありがたい！」  
「まだ背中のアトピーはひどいけど、顔は良くなっている！ありがたい！」  
**調子の悪いところから、良いところに目を向ける思考の先の『感謝』です。**

「あとは目さえ見えれば・・・」「あとは背中さえ治ってくれば・・・」  
満足いかない部分ばかりに目を向けていると、最後は不平不満で終わります。  
“ 足るを知る ” ことから感謝は生まれ、安心も生まれ、健康も生まれる。  
そのことに気づくまで、人は何度も病気をするので。

そして

- 1日でも長く生きるために太田東西薬局の漢方を続けるのではなく、
- ・人の役に立てること
  - ・人の喜びが自分の喜びになること
  - ・なくてはならない存在になること

そのためには健康が必要になる、だから太田東西薬局にお世話になっている。  
そう考えていただけるとうれしいです。  
逆説的ですが、その生き方が1日でも長く健康で生きることにつながるのです。

「何しようかな～ 退屈だな～ やることないのがストレスだなあ～」  
そんな生き方をしていたら、確実にボケます！  
最期の時まで、現状に感謝を忘れず、自分の魂を輝かせるために生きる。  
そうすれば必ず、絶対安心の境地で臨終を迎えることができます。

うちの父親にも、絶対安心の境地で昇天してもらうために教育しています。  
さて、間に合うか・・・(笑)